



# 発信！附特の魅力！

～新任校長が感じた附特の魅力を伝えます～

大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校

校長 野田幸代

## パート8：教育実習

『教育実習生の指導』は本校の大事な使命の一つです。1学期だけで大分大学教育福祉科学部3年生11名、4年生4名の教育実習を行いました。



中学部の数学『金銭』



小学部の遊び『しっぽとりゲーム』

### 教育実習を終えた学生さんの感想の一部です。

- 子どもの実態をしっかり見ておかないと、適切な働きかけはできないということがわかりました。
- 何もかも手を出すわけではなく、見守り認めることの大切さがわかりました。
- 教師がやっている働きかけ（声かけ、内容、タイミング、立ち位置）には、全て意図があることがわかり、勉強になりました。
- 言葉だけがコミュニケーションの手段ではないことがわかりました。笑顔で接すること、表情、声のトーンなど、いろいろな手段を使ってわかりあうこと。わからないときは、ごめんなさいと謝って、もう一度聞き直すことで伝え合うことができました。
- 運動会の行事で、先生方の動きがとても勉強になりました。
- 子どもたちと実際に触れあう中で、教員になりたいという気持ちが強くなりました。

一人一人の子どもをどこまでしっかり見るができるか、そこから授業づくりが始まります。  
特別支援教育で1番大事なところです。

実習担当の  
アドバイス  
でした。